

体験的な学習活動を取り入れた情報モラルの指導の取組

携帯電話、スマートフォン、タブレットPCを実際に操作しながら学ぶ情報モラル

実施主体: 岩手県立総合教育センター

協力団体: 岩手県教育委員会 岩手県立県民生活センター

《取組の概要》

岩手県立総合教育センターが実践している情報モラル教育は「体験から学ぶ」をキーワードに行われている。このことは、「情報モラルは、知識中心の指導に偏重せず、コンピュータやインターネットに触れさせながら、考え、判断し、理解させる指導をする必要があり、自分の行動がどのような結果となるか、体験を通して学ぶことに学習効果がある」という考えに基づいている。インターネット上の様々なWebサイトや掲示板などのサービスを、教室という安全な環境で疑似体験させることにより、児童生徒自身がインターネットの安全な利用方法やインターネット上での情報発信の注意点などを学ぶことを目的に教材システムを開発し、児童生徒、教職員のみならず、PTAや地域の民生委員などを対象とした研修を実施している。

1 本事業に取り組んだ理由(課題を含めて)

平成18年度の研究として、有害情報のページやWebコミュニケーションサイトを、限定されたネットワーク内で擬似的に再現し、教師の指導のもとで児童生徒に体験をさせることができれば、その体験を通して考え判断させ、適正な活動を行う態度を身に付けさせることができると考えた。

当初は、コンピュータ室のネットワークに接続したPCを利用して体験的な学習活動を取り入れた情報モラルの指導を行った。その後、コンピュータ室以外での実施を可能とするノートPCを有線LANで結んだ学習システムや、無線LANに対応した携帯電話を利用した学習システムを用いた指導を行い、平成25年度からは、タブレットPC、スマートフォンを利用した学習システムによる指導ができるようになった。コンピュータ室以外でも「体験から学ぶ」授業や研修会を実施できることはもとより、児童生徒が普段、インターネットを利用する環境に近い形で学習指導をすることができることは大きな意味がある。また、夕方や休日に実施される家庭教育学級（PTA行事）での研修や、学校だけではなく、法務局、公民館など地域の関係機関での研修に活用することが可能となった。



【スマートフォンとタブレットPC】

2 実施スケジュール

平成18年度	情報モラル学習教材「情報サイト」開発	研究協力校、研究協力員による授業実践
平成19年度～平成23年度	学習教材「情報サイト」を県内各学校コンピュータ室に導入、情報モラル授業、教職員研修を実施	
平成25年度	携帯電話50台及びサーバ導入	
平成26年度	スマートフォン、タブレットPC用情報モラル学習教材「スタモバA3」開発、スマートフォン50台、タブレットPC50台及びサーバ導入	

3 事業展開

年間を通じて、学校や地域の各種団体の要請を受け、タブレットPCやスマートフォンを利用した情報モラル授業、情報モラル研修を実施している。

また、センター事業費で研修者の旅費を負担し、被災地や遠隔地の教員を対象としてセンター所員が講師として開催する「移動センター研修講座」も年4～5回実施している。

小中学校では、児童生徒と保護者が一緒に学ぶ「情報モラル教室」や「家庭教育学級」での保護者向け研修の要請が増加している。

＜平成26年度まで3年間の実績＞

	小学校	中学校	高等学校	特別支援	一般その他
平成24年度	9	3	6	2	15
平成25年度	25	13	9	1	24
平成26年度	51	28	4	3	22



4 事業の成果(効果)

26年度、スマートフォンやタブレットPC等を用いた情報モラルの授業や研修会は延べ108回実施され約8,600名の教員や児童生徒等がネット社会の危険性を疑似体験している。

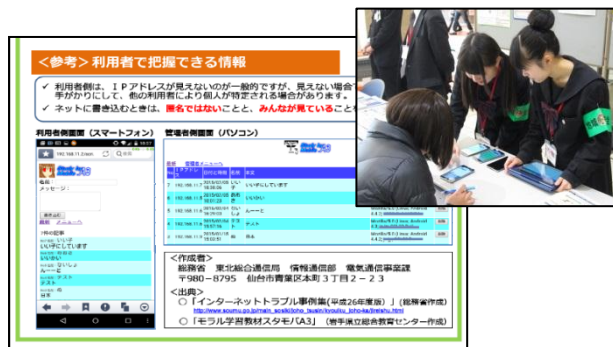
当初、児童生徒向けに開発した教材であったが、教員研修で紹介している中でアダルトサイトを介した不正請求や、通信記録・ログの保存のしにくみに驚く教員も多く、指導者に対しても、ネット社会の実態を意識化させ、情報モラル教育の必要性を啓発することに役立つ教材であることがわかった。また、授業参観日の授業で指導を行ったり、家庭教育学級（PTA研修会）などで保護者自身が研修したりすることにより、学校と保護者が連携した情報モラル教育の推進にも役立っている。さらに、地域の民生委員や補導員などの研修にも活用することで学校・保護者・地域が連携した情報モラル教育の推進に役立てられている。



5 事業を成功させるためのポイント

関係機関との連携、協力が事業を成功に結びつける鍵となる。多くの授業や研修会を実施する中で、岩手県警察本部サイバー犯罪対策室や岩手県立県民生活センター、総務省東北総合通信局など、情報モラルに関する啓発活動を推進している組織、団体との情報交換を行うことは指導内容の充実のためにも非常に有効である。

平成26年度総務省東北総合通信局主催の「春のあんしんネット・新学期一斉行動」街頭キャンペーン（東北6県で開催）において、スマートフォン、タブレットPCを用いた情報モラル学習教材を活用し、県内外の多くの方々に情報モラル学習を体験してもらうなど連携に努めている。



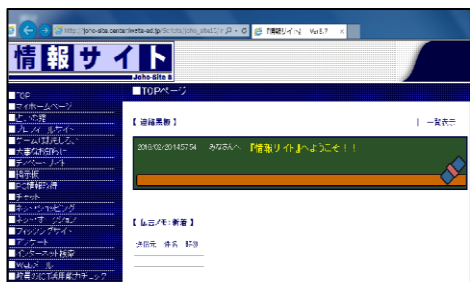
6 今後の展開(継続・発展させていくために)

これまで、情報モラルに係る授業や研修を実施し、県内の情報モラル教育の充実、推進を図ってきたが、情報モラルに関する指導を、各学校や地域において主体的、継続的に行うことができるまでには至っていないのが現状である。そこで、「体験的な学習活動を取り入れた情報モラルの指導」と併せて、学校において継続して指導ができるようにするための取組を行う。具体的には、提示用教材や配付資料、保護者向けの啓発資料等を収集、整理するとともに、SNSの利用など新たな指導内容にも対応できる教材を開発する。これら児童生徒のICT機器やインターネットの利用実態、発達段階に応じた体系的な指導に活用し、教員自らが主体的、継続的に情報モラルの指導を行うことができるように支援する。

7 その他

〈これまでに開発したPC用情報モラル学習教材の紹介〉

※詳しくは下記Webページをご覧ください。



「情報サイト」



「スタモバLAN」



「ゲーム機です」



「スタモバLAN3」

8 参考資料等

岩手県立総合教育センター情報教育Web
<http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/index.html>

児童生徒のための情報モラルテキスト
<http://www1.iwate-ed.jp/tantou/joho/moral/text/index.html>